

河村一輝選手 1500mで日本新記録!

7月17日に北海道で開催されたホクレンディスタンスチャレンジの1500mに出場した河村選手が、3分35秒42で優勝しました。この記録はこれまでの日本記録である3分37秒05を大幅に更新し、日本新記録となりました。



—当日のレースを振り返った感想は

河村 「皆さんのおかげ」この一言に尽きます。私は、今シーズンこのレース（ホクレンディスタンスチャレンジ）までに6戦5勝しており、直前の6月に行われた日本選手権でも優勝できました。そこで、私の周りで「河村に日本記録を更新させよう」というムードが高まっているように感じていました。

前日に綿密な作戦会議を行ってレースを迎えましたが、その日は自分自身のコンディションがとても良く、更に気温や湿度といったグラウンドコンディションの良さも相まって、出るべくして出たタイムだと思っています。最高の条件を整えて下さった皆さんに感謝しています。



▲日本選手権での優勝の瞬間

一次の目標は
河村 私は1500mという種目が好きです。今後もこの種目で勝ち続けていきたいです。日本記録を出すことができましたが、これで満足しているようではダメだと思っています。今回、世界選手権の参加標準記録まであと0.42秒でした。参加標準記録を出せる力が私にもあるという自信が生まれたので、その自信をバネに、陸上競技部が目指している駅伝に向け、もっと長い距離の練習で持久力を鍛えながら、1500mのスピードを強化していきます。目標は、日本代表として世界へ挑みたいです。2022年7月にアメリカで開催される世界選手権を目指しています。応援よろしくお願いします。



かわむら かずき
河村一輝選手

Profile

1997年11月13日生まれ。岐阜県出身。明治大学卒業後、2020年に当社入社。高校3年の時、1500mで岐阜県の高校記録を更新。その年のインターハイで3位の好記録を残す。大学時代は1年の時に1500mでアンダー20日本歴代6位を記録。また、日本選手権には、大学1年の時から当社陸上競技部へ入部後の今シーズンまで6年連続で出場している。

今シーズンは、今年4月の金栗記念選抜陸上中距離大会で日本歴代9位の記録で優勝、続く5月の中部実業団対抗陸上競技大会優勝、6月の木南道孝記念陸上競技大会優勝、Denka Athletics Challenge Cup 2021優勝、日本選手権優勝と好成績を収めている。

お知らせ トーエネック陸上競技部の『公式』Twitterをご覧ください

当社陸上競技部のTwitter公式アカウント「快足通信」では、レースの結果速報や選手のコメントなど、鮮度の高い情報をリアルタイムで発信しています。Twitterでも陸上競技部の応援をよろしくお願いします。右のQRコードからもアクセスできます。



@kaisokutsuushin

トーエネック ニュース

トーエネックニュースは年4回(1月・4月・7月・10月)発行です。



マスコットキャラクター
つなかるん

発行 〒460-0008 名古屋市中区栄1-20-31
株式会社トーエネック 総務部 広報グループ
TEL 052-219-1906
ご意見・ご感想・お問い合わせなど お待ちしております。

本紙で紹介している
以外にも当社の最新
ニュースや施工実績を
HPでご覧いただけます。



No.14

ゼロエミッションの達成目標を設定

2021年10月1日

脱炭素社会の実現を目指します

当社は、当社グループにおける環境保全活動の考え方を示した「トーエネックグループ環境基本方針」を定め、これに則り、事業を通じ環境保全活動に取り組んでおります。今回、脱炭素社会の実現に向けた当社の環境保全活動として、ゼロエミッションに取り組むこととし「ゼロエミッションの達成目標」を定めました。

当社は、ゼロエミッションの目標達成に向けた取り組みを進めながら、総合設備企業としての強みを活かし、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

ゼロエミッションの達成目標

2030年 売上高あたりのCO₂排出量を2013年度比で46%以上削減します

目標達成に向けた具体的な取り組み

当社のCO₂排出量の99%は、社有車の車両燃料および事業場等の電気使用です。

そこで、以下の取り組みを進めます。

- ①車両更新時に対象車両は全て電動化します(電動化に適さない工用特殊車両等は除く)
- ②事業場の建替等をする際は、太陽光発電設備の設置(創エネ)を前提に検討し、さらに条件が整う場合は、ZEB認証を取得することを目指します

2050年 CO₂排出量ネットゼロを実現します

トーエネックグループ環境基本方針 2021年10月1日

トーエネックグループは、電力供給、電気、空調管、情報通信設備工事を主体とする総合設備業として、地球環境の保全に努め、持続的成長を目指してまいります。この実現に向けて、社員一人ひとりが自ら律して行動し、社会の発展に貢献します。

1. 脱炭素社会の実現に貢献します ~「ゼロエミッション」の達成をめざして~

- 地球温暖化防止(CO₂削減策)を推進し、事業活動を通じて脱炭素化をめざします
- お客さまや社会のニーズにお応えできる脱炭素社会に向けたソリューションを提案します

2. 自然との共生に努めます

- 豊かな自然環境を守るため、多様な生物の生態系や水資源の持続可能性に配慮して事業活動を行い、環境汚染の予防に努めます

3. 循環型社会の実現をめざします

- 資源の消費抑制を図るとともに、廃棄物の発生抑制や資源の再利用・リサイクルにより処分量の最小化に努めます

4. 環境意識の向上に努めます

- 環境とエネルギーに関して、地域社会の皆さまとのコミュニケーションを深めます
- 環境に配慮した行動が自発的にできる人材を育成し、社会に貢献します

トーエネックグループは、環境への取り組みについて、継続的な改善を進めるとともに、適時適切に情報を開示します。



VISION内インフラ工事

VISION

三重県多気郡多気町に「VISION」が完成しました。VISIONは、日本最大級の商業リゾート施設です。東京ドーム約24個分の広大な敷地内には、ホテル、市場、レストランのほか薬草湯（温泉）などさまざまな施設が軒を連ねています。



▲市場が連なるマルシェヴィソン(写真)への給排水工事なども施工しました

施工メモ

VISIONは山を切り開いて建設されました。そのため掘削ルートに岩盤が多く、1つのルートを掘削するのに予想以上に時間がかかることが幾度かありました。非常に硬い岩盤地質の場所もあり、そういった場所は岩を叩き割りながら掘削するため、時には1日5m程度しか進まない日もありました。作業に遅れが出ないよう、電力と給排水等の掘削ルートを可能な限り集約し、同時に施工することに対応しました。

施工概要

- 工事場所 三重県多気郡多気町ヴィソン672-1
- 工期 2020年1月10日～2021年3月31日



ヴィソンホテルズ

当社は敷地内のインフラ工事（地中線工事、空調衛生設備工事）、ヴィソンホテルズの電気設備工事と空調衛生設備工事を施工しました。その他、エリア内での通信事業も行っています。

施工メモ

VISION内には、市場、レストラン、ワークショップなど数々の施設があります。その一つひとつが、素晴らしいデザインの建物になっています。こちらのホテルも、外観・内装ともに非常に凝ったデザインとなっています。そこで、電気設備や空調設備などもデザインを重視しながら施工しました。例えば、機器のサイズを小さくするとともに人目につかない場所に設置したり、周辺のデザインに合うような形状の機器を選んだり、デザインの良さを最も引き立てることを念頭に置き、随所に工夫を凝らして施工しています。

施工概要

- 工事場所 三重県多気郡多気町前村字二子673-1・橋ヶ谷672-1 (VISION内)
- 工期 2019年12月3日～2021年6月30日

3年連続アビリンピック
全国大会へ出場



▲愛知県大会の金賞メダルを手にする菊池社員(左)と、努力賞に選ばれた青木社員

第41回全国アビリンピックは、2021年12月17日～20日の期間、東京ビッグサイト(東京都)で開催される予定です。

人事部給与厚生・年金グループの菊池蒼社員が、7月3日に開催されたアビリンピック(障害者技能競技大会)愛知県大会の「表計算」種目で金賞に輝き、7月15日に愛知県知事から表彰されました。菊池社員は、愛知県代表で第41回全国アビリンピックの同種目に出場する予定です。

菊池社員は「全国大会は、県大会より競技時間が25分短いので勝敗の力はスピードだと思っています。練習を重ねて作業スピードをアップし金賞を目指します」と意気込みを語っています。なお、菊池社員は全国アビリンピックに2019年から3年連続で愛知代表として出場しています。

また、菊池社員と同じく愛知県大会の表計算種目に、配電統括部総括グループの青木大地社員が初出場し、努力賞に選ばれました。

2022年3月期第1四半期決算短信
(2021年4月1日～2021年6月30日)

当社グループは、中期経営計画2022(2020年度～2022年度)の目標達成に向け、①事業拡大と基盤強化、②収益力向上に向けた競争力の強化、③人材の育成強化、④企業風土改革の推進の4つの重点方針を掲げ、グループ一体となって推進しております。

連結業績につきましては、第1四半期としては、売上高営業利益、経常利益が連結決算導入以降の過去最高を更新しました。売上高は、5期連続の増収、営業利益経常利益は3期連続で増益となりました。

	個別経営成績 (単位:百万円)		連結経営成績 (単位:百万円)	
	2022年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期
売上高	43,414 (△3.6%)	45,022 (5.2%)	49,534 (0.3%)	49,386 (5.7%)
営業利益	1,985 (△5.0%)	2,088 (14.2%)	2,630 (3.6%)	2,539 (18.1%)
経常利益	1,972 (△3.2%)	2,037 (16.8%)	2,342 (0.1%)	2,339 (19.2%)
四半期純利益	1,341 (△2.0%)	1,368 (△39.0%)	1,485 (△0.8%)	1,496 (△36.6%)

※百万円未満切捨て ※%表示は対前年同四半期増減率

8月14日～19日
令和3年8月の大雨の災害復旧



写真は長野県内の復旧現場の様子

日本列島周辺に停滞した前線の影響により、8月11日から21日頃にかけて西日本から東日本の広い範囲で記録的な大雨となりました。これにより各地で災害が発生し、当社は復旧作業にあたりました。

中部地方も大雨に見舞われました。当社の施工エリアでは、岐阜県内で増水による川沿い国道の一部崩落や土砂崩れによる鉄道の寸断など各所に大きな被害が発生しました。また、長野県内でも各所で被害が発生しました。

当社の配電部門は、8月15日から19日にかけて静岡・岐阜・長野の3支店で管内事業場において災害復旧体制を敷き、復旧作業にあたりました。

また、情報通信部門は、8月14日から17日にかけて中部本部と岐阜支店が、広島県と静岡県および岐阜県に復旧要員を動員し、作業にあたりました。

